



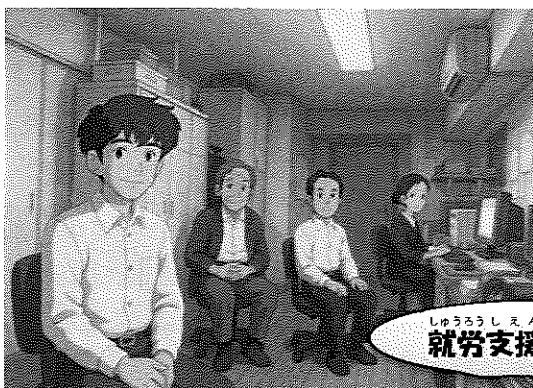
あらた ひび ちいさ しょうがい みな とも
～改めて…日々、地域の障害のある皆さまと共に～

今号は昨年度の報告を皆様にお伝えするとともに、各部職員の紹介をさせていただきます。
そして、とても残念なご報告ではございますが、2019年より開始した生活介護事業所えん
ばわが人材確保の難しさから、事業継続を断念した事をお伝えしなければなりません。

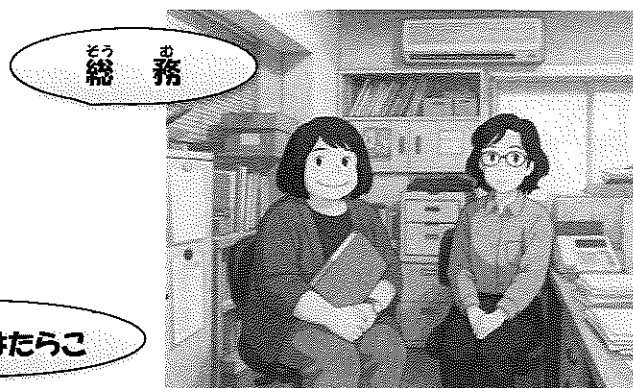
えんばわは、ヘルパー利用や毎日通所が困難な方など、サービスの狭間に陥ってしまい
がちな障害のある方々と繋がる場として開始させて頂きましたが、改めて自立生活セン
ターとして、また異なる形で地域の皆様と繋がるよう頑張っております。

2025年度もどうぞよろしくお願い致します。

(理事長 鈴木徳子)



しゅうろうしえん
就労支援はたらこ



どう
総 務



しょくいん
職員みんなで
ジブリアニメの
登場人物になっ
てみました。

ふくし
福祉ホットライン・
計画相談・自立生活部



福祉ホットライン《障害者地域自立生活支援センター事業》2024年度事業報告

相談支援の傾向

2024年度も様々な方からのご相談を、電話での相談、ZOOMを活用したオンラインでの面談、感染症対策を行いながらの対面での相談等、引き続き多様な形で対応しました。

介助者との人間関係に関すること、介助を受けながら生活する中での困りごと、生活の中で感じる様々な感情や不安、パートナー探しや恋愛に関する悩みなどの相談に対し、時間をかけて傾聴するピア・カウンセリングを実施するとともに、ご本人のニーズを確認しながら必要な支援を行いました。

また、身体障害のある方より入所している施設を出て1人暮らしをしたいとご希望があり、住宅探しや物件の契約・引っ越しに関わるサポート、制度を利用して住宅改修を行うための支援を行いました。そして、介助派遣・訪問看護・往診・金銭管理支援等の自立生活開始後に必要になるサービスに関する情報提供や調整などを行いました。

その他にも、体調の変化や発病に伴う入院の際の院内介助に関する調整、補装具や日常生活用具に関わるサポート、各種障害福祉サービス・制度を利用するための支援など、実施内容は多岐に渡っています。

(1) 介護制度利用援助 128件 (6.8%)	(4) ピア・カウンセリング 248件 (13%)	計：1860件
(2) 社会資源活用支援 813件 (44%)	(5) 専門機関紹介 4件 (0.2%)	
(3) 社会生活力向上支援 612件 (33%)	(6) その他 55件 (3%)	

立川市自立支援協議会

全体会：第1回 6月24日、第2回 10月21日、第3回 2月12日

今年度は各部会での議論や活動された報告から、課題の共有や、事例検討を重ね、委員間の顔の見える関係づくりの土台が構築された場でした。

また、福祉サービスを担う人材不足も共有され、特にグループホームやヘルパー派遣事業所など、夜間、休日等のサービス提供の危機的な状況が改めて共有されました。

地域生活支援拠点事業 コーディネーター

コーディネーター会議：4月18日(木)、5月9日(木)、6月13日(木)、7月11日(木)、8月8日(木)、9月12日(木)、10月17日(木)、11月14日(木)、12月12日(木)、1月9日(木)、2月6日(木)、3月21日(金)

今年度、福祉ホットラインでは8名の方にご登録頂き、相談支援を行いました。個々の相談や市役所・通院同行などに加え、障害支援区分認定調査への同席も行いました。また、通所や外出など、ご家族以外と過ごすことが難しい方に向け、当団体の生活介護の場において社会と接触する機会を保ちつつ、サービス利用による外出等につながる支援を行いました。

加えて、登録には至っていないものの事業対象者となっていて、福祉ホットラインへ相談を頂いている方について、コーディネーター会議で今後の支援方針を確認しながら調整を行いました。

サービス未利用者の実態把握としては、就労支援事業への新規相談者を含め、当団体にご相談頂き、他の支援機関が関わっていない方の状況をコーディネーター会議で共有しました。

(櫻井 未来・鈴木 徳子・廣瀬 麻美)

●ちてきじぎょう 知的事業

■うっちい散歩「アールブリュット立川」

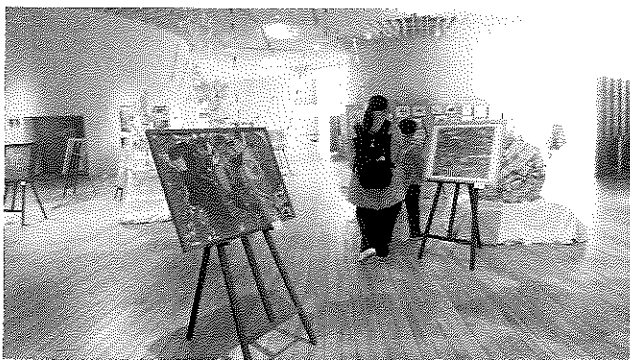
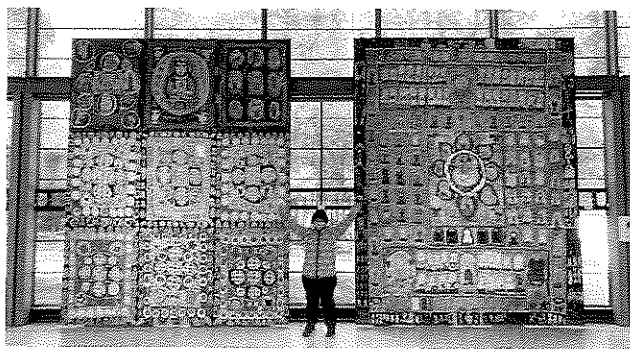
10th Anniversary (1月31日)

立川では市民、行政、企業、障害のある人たちが協力してアールブリュット展を開催することを通じ、障害のある人もない人もともに生きる社会の実現につなげる活動をしています。今回は10周年記念として、昭和記念公園の花みどり文化センターで開催されたので取材に行ってきました。

個人の作家さんや事業所さんごとの作品など年を追うごとに多彩な芸術を楽しめるようになってきています。実行委員さんに聞きました！

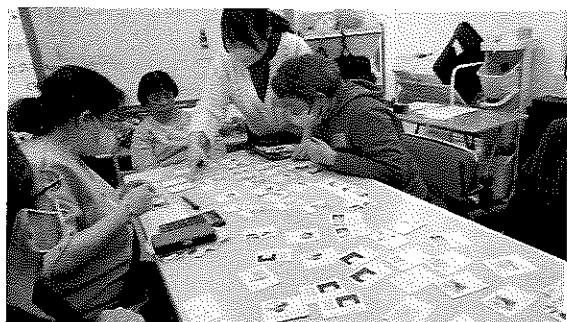
Q. 今年は10周年ということですが、どんなことを大切にしていますか？

A. 節目の年なので、大きな会場である昭和記念公園で展示することを目指して1年活動してきました。実行委員会のメンバーも、10年間頑張ってきた…という思いを持っています。



■プログラム「もらえるお金・使えるお金を知ろう！～かしこく楽しくやりくりできるかな？～」

(3月15日) 参加者4名



今まで、ひとり暮らしに向けて家具家電を見に行ったり内見をしてみるプログラムを行ってきました。今回は、自分たちが貰っているお金『年金・手当・工賃』について、そしてお金の使い方について知ってもらいたいと思い企画しました。

将来のことを考えた時に、まずは家族と離れてグループホームでの生活を自給するという方が多いこと、地域によって障害のある人を支える制度に違いがあることを知ってもらう

ために、立川だけでなく国立に住んでいる人を例にあげて考えてもらうことにしました。まず参加者の方には「立川市のグループホームで暮らして生活介護に通っているAさん」または「国立市のグループホームで暮らしてB型の作業所に通っているBさん」になりきってもらいました。そして、AさんとBさんそれぞれの収入や支出などお金の流れについて一緒に勉強したり、外出や買い物などどんな余暇を楽しみたいかカードを選んでもらったり、使えるお金がどれくらいあるかロールプレイをしました。プログラムを通じて自分自身が受け取っている年金や手当のことを知って頂く機会にもなりました。

リーダーの感想：お金の計算をまじめにやっていた。みんな使えるお金より、カードの合計がオーバーしていた。話す内容が多かったけど、ちゃんとできた。

参加者の感想：好きなこと、いっぱい選んだけど、好きに使えるお金は少なかった。いい勉強になった。
(廣瀬 麻美)

●その他2024年10月から2025年3月までに行った企画●

・作業所取材「あすはの会 みしょう」(11月22日) ・うっちい散歩「立川市障害者週間」(12月6日)

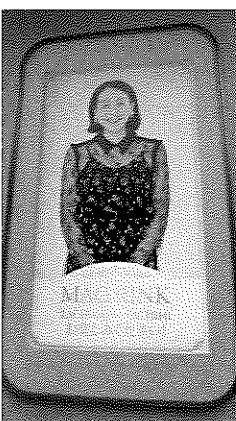
じりつせいかつぶ
自立生活部

ねんどしもはんきプラスアルファじぎょうほうこく
— 2024年度下半期 + α 事業報告 —

■おすすめスポット通信取材 「MAO RINK TACHIKAWA TACHIHI」

今回は、^{いづみちやう}泉町にある「MAO RINK TACHIKAWA TACHIHI」をおすすめスポットとして取材してきました。

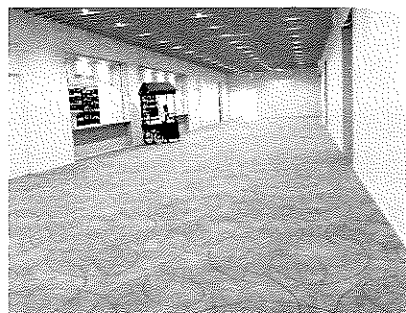
「MAO RINK TACHIKAWA TACHIHI」は、プロフィギュアスケーターの^{あさだ}浅田真央さんが「自分のアイススケートリンクを作りたい」という気持ちから、^{かぶたちひ}榑立飛ホールディングスと作り上げ、2024年11月にオープンしました。



^{たま}多摩モノレール立飛駅より徒歩5分という近さも利用しやすい点です。^{えいぎやうじかん}営業時間は11時～17時30分まで、料金は大人¥1,800、子ども¥1,200、付き添いや観覧のみの方¥500ですが再入場もできるため、近くのならば一と立飛で昼食を済まし、再度スケート練習に戻ることができ1日中利用ができる施設です。^{ちゆうしゃじやう}駐車場はありませんが、コインパーキングやららば一との駐車場を利用できます。手袋の持参は必須ですが、スケート靴の貸し出し(有料¥600)はあります。



入り口では、^{あさだ}浅田さんが出迎えてくれます。エントランスフロアの床の模様は、スケートで滑った際

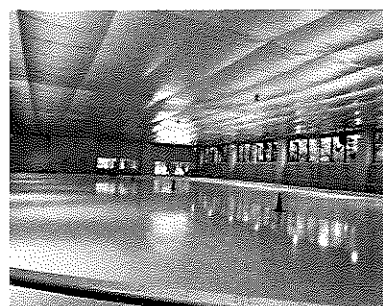


に出来る^{あと}跡をモチーフにされており、^{あさだせんしゆ}浅田選手のこだわりが細部にまで詰まっています。

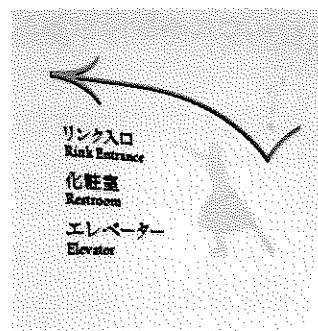


施設内はメインリンクとサブリンクと2か所リンクがあります。メインリンクは世界大会基準の60 m × 30 m と広々とした空間でした。^{きやくせき}客席は1,000席あります。そのうち1席は取り外しができるようになっており、^{しゆうかい}車いす席として使用可能となるようです。主催される方にもよるようですが、リンク上にカーペットを敷いて客席とすることも可能の様です。^{きやくせき}客席の椅子は長く座っていても疲れ

ないようにと^{あさだ}浅田さん自ら座って確かめてから決められたというこだわりもあってか、^{きやうりやくいん}協力員からも「座り心地が良い」という声が聞こえました。サブリンクは40 m × 24 m と小さく、手すりの位置もメインリンクより低い



ため^{しよしんしやむ}初心者向けに設計されていました。またスケートリンクの氷が外の気温に左右されてしまうため、一般的なリンクには窓は作らないようですが、リンクから四季が感じられるようにとの^{あさだ}浅田さんの思いがあり、サブリンクのみ窓が作られました。窓の外には桜の木が植えられており、取材時には新緑が窓いっぱい^{しんりよく}に広がっていました。更衣室や授乳室(多目的室)、多目的トイレがあり、^{くるま}車いすの方やお子様連れでも安心して利用することができます。



^{わたし}私たちも体験させていただきました。想像より難しかったですが、氷上そりなどのレンタルもある為、初めての方も安心して滑ることができます。また施設内には^{あさだ}浅田さんをモチーフにした装飾が至る所にあるので探してみるのも楽しいですね。

(浅井 祐奈)

■令和6年能登半島地震被災障害者支援募金 (1月17日) 参加者15名



能登半島地震の被災地で暮らす障害のある人たちが日常生活を取り戻すためには、まだまだ多くの課題が残っていて、継続した支援が必要な状況です。地震に加え、昨年9月20日の深夜から降り続いた雨により河川の氾濫、土砂災害や浸水などの被害もありました。障害のある仲間たちに向け、私たちができることを考え、今年も立川駅北口のペデストリアンデッキにて募金活動を行いました。当日は強風が吹き荒れていましたが、お天気には恵まれ、協力員やえんぱわの通所者のほか、みたか街かど自立センターの方にもご参加頂きました。「被災地で炊き出しボランティア

をしたことがあるから」「能登がふるさとなので応援したいから」と募金だけでなく声をかけてくださった方もいました。当日の募金額は46,916円となり、ヘルプ協会たちかわさんに設置させて頂いた募金箱等への支援も合わせて59,083円をNPO法人ゆめ風基金へ送金させて頂きました。(廣瀬 麻美)

■2025年新年会 (1月17日) 参加者13名

募金活動が終わった後は、暖かい駅ビルに移動して新年会を開催しました。今年の会場はグランデュオ立川のレストランフロアにある「和食処 銀蔵」。お寿司や天ぷらなどのメニューが豊富なお店で、新年を祝う場にぴったりでした。参加者それぞれ食事を楽しみながら歓談し、中には「立川の今むかし」といった話題でも盛り上がっていたテーブルもありました。後半は職員や介助者の方も含めて今年の抱負をひとこと発表し、よい年になりますようにと思いを込めて笑顔でお開きとなりました。(廣瀬 麻美)



■介助ILプログラム+ピアカウンセリング「みんなで介助を話そう」(2月19日) 参加者6名



今回のILプログラムでは、ピアカウンセリングの要素をより重視して、障害のある仲間同士での聴き合いを大切にしながら行いました。私たちの生活に必要な不可欠な「介助」をテーマとし、普段なかなか話し合うことの少ない介助の悩みを出し合いました。介助者不足の今日においては、大切にする意味で介助者をより気遣うことがありますが、それが極端な遠慮や我慢になってしまう場面もあります。そういった場面での気持ちを聴き合い、その上で建設的に問題の解決を見つけることを目的に開催しました。当日は6名の参加者とともに、セッション

やロールプレイを通じて、自分と介助者のやりとりのなかで起きている“うまくいかないこと”と向き合い、それぞれを尊重しながらも“自分らしい生活の実現”に向けてエンパワメントし合う時間となりました。(大石 幸治)

●その他、2024年10月から2025年3月までに開催したイベント・行事●

- ・出前講座 (二小、三小、四小、八小、九小、幸小、西砂小、若葉台小、一中、二中、六中)
- ・視覚障害者交流会「余暇の過ごし方、趣味・好きなこと」(11月22日)
- ・防災プログラム「能登半島地震から1年たってみえてきたこと」(1月29日)

たちかわしろうがいしゃしゅうろうしえん
立川市障害者就労支援センター はたらこ — 2024年度 事業報告 —

【1】登録者の状況(表参照)

利用問い合わせの総数は90件(前年度59件)で、精神・発達障害者が50%、身体障害者が約11%、知的障害者が20%、高次脳機能障害・難病の障害者が約3%でした。在職中の方からが約28%で、企業から障害のある従業員についての相談は4件ありました。

正式に新規登録した方は37名でした。知的障害者15名、精神障害者17名、身体障害者5名でした。利用登録された方の紹介経路は、支援学校などの高等部新卒者8名(4校)、福祉サービス事業所9名(うち定着支援事業から3名)、障害者職業センター3名、職業リハビリテーションセンター1名、行政6名、企業等4名、ご本人から直接が6名でした。登録時の状況は、未就労の方が10名、在職中の方が27名でした。

年間の就職は37件でした。仕事内容は、メール集配や軽作業も含めた事務系10名、小売3名、サービス(介護・調理補助)5名、緑化・栽培11名、食品加工4名、清掃・仕分け・警備等4名でした。また、就職先として特例子会社が8件ありました。

一方、離職は32件で、会社都合によるものが3名で、その他の29名は自己都合によるものでした。内容としては転職希望22名、不調5名、その他5名でした。離職後の状況としては再就職を果たした方が20名、在宅の方が12名でした。

また、年度末で登録終了した方は4名でした。転居された方2名、支援を利用しないとされた方2名でした。

登録者状況 (2025年3月31日)				
① 人数	305名			
② 性別	男性	214名	女性	91名
③ 年齢	10代	7名	40代	59名
	20代	104名	50代	31名
	30代	91名	60代	13名
④ 障害	知的障害	210名	精神障害	73名
	身体障害	21名	知的判定	1名
⑤ 状況	一般就労中	274名		
	就職準備等	31名	(福祉施設通所含む)	

【2】訓練等プログラム

市役所実習は4回実施し、8名が参加、うち4名の方が就職を果たされました。別枠で行っている市内通所施設利用者を対象とした年1回の市ゴミ袋セット作業は、今年度はありませんでした。また、高齢者施設清掃実習ならびに昨年度再開したららば一と職場体験実習についても、対象者がおらず実施に至りませんでした。

【3】利用者交流プログラム

・夕食会 知的障害の方を対象とした木曜日の夕食会は24回実施し、毎回平均約19.8名、年間のべ475名が参加されました。感染対策は継続しながらも、20名の人数制限はせず実施しました。

・お楽しみ会 知的障害の方を対象とした交流会として2回実施。1回は「災害が来たらどうしよう〜家で、職場で、気をつけること〜」と題して、市の防災課職員の方を講師としてお招きし、お話しいただきました。もう1回は恒例のボウリング大会を実施しました。参加者はのべ67名でした。

(川崎 太郎)

生活介護事業所えんばわ 下半期事業報告

■ららぽーと立川立飛 11月20日(水)



2024年度水曜チームは外出企画をしても雨が多く、中止となつてばかりでした。11月も昭和記念公園でイチョウを見に行こうと予定していたら、またしても、雨…。企画を変更して、ららぽーと立川立飛へ出かけました。

午後からのメンバーさんはららぽーとで昼食を食べ、午前からのメンバーさんたちと合流。クリスマスの雰囲気が楽しめるかと思いきや、それも早過ぎたようでした。残念。お店をいろいろ見た後は、タリーズでコーヒータイム。おいしいケーキやコーヒーを楽しみました。

■新年ゲーム大会 1月8日(水)

年明け水曜は恒例のゲーム大会を行いました。今年は昨年「えんばわ すごろく」をバージョンアップ! 升目には昨年、メンバーさんたちにおきた数々の出来事がちりばめられており、さらに面白いすごろくになっていました。

その他、今年、力を入れたのが、「紙相撲 えんばわ場所」。東と西に分れ、番付表を作り、取り組みの前にしおに見立てて紙吹雪をまいたり、取り組みを大画面テレビで映して盛り上がりしました。



■アールブリュット立川 10周年記念展示 花とみどり 生きる力 2月3日(月)

月曜のメンバーは絵画や創作がお好きな方が多いことから、昭和記念公園 花みどり文化センターで開催されたアールブリュットを鑑賞しました。毎回、素晴らしい作品ばかりですが、今回はさらに作品のスケールが大きく、目を見張るものでした。メンバーさんたちは一つ一つの作品を丁寧に鑑賞されていました。



■感謝祭 3月26日(水)

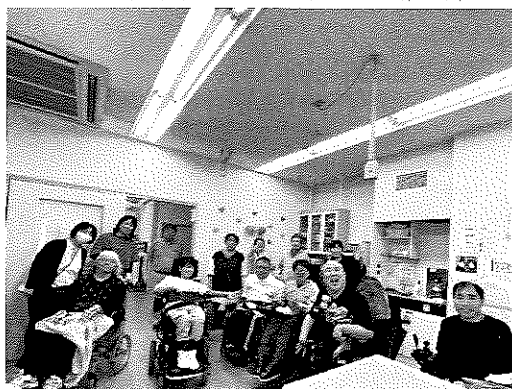
令和元年11月より生活介護事業 えんばわを行ってまいりましたが、令和7年3月末で事業を終了することとなりました。

最後の水曜は水曜以外を利用されているメンバーさんにもお声掛けをし、「感謝祭」として最後のイベントを行いました。おひとりずつ思いをお話いただいたり、えんばわとゆかりのある方々からいただいた動画メッセージを拝見しました。これまでの写真や動画を見て笑い、懐かしみ、楽しい時間は過ぎていきました。

障害のある人が地域と繋がる場となりたい、地域で暮らす障害のある人のキーとなる場となりたい、利用される方に所属感をもっていただき、仲間と繋がって欲しいとの思いで開所し、法人、スタッフ一同、その思いで行ってまいりました。

利用されていたメンバーさん、ご家族、関係機関の方々には大変、ご迷惑をおかけしました。おひとり、おひとりがこれからは新たな場所で自分らしく過ごされることを願っています。これまで、えんばわへのご利用、ご支援、ご協力ありがとうございました。

(奥山葉月・金井春奈)



私たちの動き (10/1~3/31)

() は担当部門名 CIL・HL・就労・えんばわ

※印はオンライン

【連絡会・委員会・連携業務】

(CIL)

- ・立川市地域公共交通活性化協議会(10/4, 3/25)
- ・りらく定例会(10/17, 11/21, 12/19, 1/16, 2/20, 3/13)
- ・立川市障害を理由とする差別解消
まちづくり協議会(10/21, 2/12)
- ・立川市障害者施策推進委員会(10/24, 1/24)
- ・りらくオンライン病院訪問(10/24, 11/28, 1/23, 2/27, 3/27)※
- ・立川療護園はごろもの音相談会(10/24)
- ・立川災害ボランティアネット定例会
(10/25※, 11/29, 12/27, 2/28, 3/28※)
- ・多摩療護園オンブズパーソン
定例会(10/25, 12/27, 1/24, 2/28, 3/28)
- ・多摩あおば病院地域医療連携協議会(11/1)
- ・ホワイトラテ定例会(11/5, 12/2, 1/23, 2/27, 3/24)※
- ・立川市指定特定相談支援事業所連絡会(11/6, 1/21)
- ・多摩療護園利用者・職員懇談会(11/6, 1/8)
- ・立川療護園はごろもの音第三者委員会(11/14, 3/13)
- ・多摩地域生活支援センター虐待防止委員会(11/18)
- ・障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を
考える会定例会(12/4, 2/14)
- ・障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を
考える会地区別懇談会(12/11, 2/7, 3/26)
- ・立川市障害者グループホーム連絡会(12/11)

(HL)

- ・立川市障害者週間実行委員会(10/17, 11/21, 1/16, 2/20)
- ・立川市自立支援協議会全体会(10/21, 2/12)
- ・立川市自立支援協議会相談支援専門部会(11/8, 2/13)
- ・立川市地域生活支援拠点等事業コーディネーター会議
(11/14, 12/12, 1/9, 2/6, 3/21)
- ・立川市地域生活支援拠点等事業所合同会議(12/12)

(就労)

- ・立川市自立支援協議会就労専門部会(10/16, 3/17)
- ・立川市自立支援協議会全体会(10/21, 2/12)
- ・就労選択支援勉強会(11/6, 12/23, 1/17, 3/17)
- ・立川市くらし・しごとサポートセンター主催
就労支援機関連携会議(12/2)
- ・TALANT連絡会議(12/12)
- ・自立支援協議会運営会議(1/10)
- ・ハローワーク立川主催雇用連絡会議(1/30)
- ・多摩地域障害者就労支援事業実施団体連絡会(1/31)
- ・東京都障害者就労支援関係機関意見交換会(2/13)
- ・多摩北部ブロック就労支援を考える会(3/5)※
- ・けるん主催ネットワーク会議(3/12)
- ・全都ネットワークの会(3/13)※
- ・オープナー主催武蔵台学園圏域センター打合せ(3/28)

【外部への見学・研修・イベント】

(CIL)

- ・立川災害ボランティアネット特別防災講演会(10/5)
- ・立川市手をつなぐ親の会主催学習会(10/25)
- ・立川市虐待防止センター学習会(10/31)
- ・JIL臨時総会(10/31)※
- ・立川災害ボランティアネット
市民のための体験型防災講座(11/2)

- ・立川市在宅障害者の保障を考える会緊急スロープ点検(11/8)
- ・JIL総会・全国セミナー(12/10~12)※
- ・障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を
考える会シンポジウム(12/12)
- ・CILくたち援助為センター設立30周年
シンポジウム(3/26)

(HL)

- ・立川市虐待防止センター学習会(10/31)
- ・わーくはびねす農園見学会(1/10)

(就労)

- ・中央大学就労移行説明会(11/5)※
- ・自立支援協議会就労専門部会主催
事業所見学会(11/12, 11/13, 11/14)
- ・立川商工会議所主催多様性から始める人材確保
対策セミナー(11/13)
- ・自立支援協議会就労専門部会職場見学会(1/10, 1/20)
- ・自立支援協議会就労専門部会研修・交流会(2/6)

(えんばわ)

- ・みんなで交流ミニレクリエーション
(多摩障害者スポーツセンターオンラインプログラム)
(10/8, 12/24)※
- ・立川市泉体育会チャレンジスポーツ教室(10/17)
- ・リズム&ストーリー
(多摩障害者スポーツセンターオンラインプログラム)
(10/21, 11/18, 12/16, 1/20, 2/10, 3/10)※
- ・JIL女性リーダープロジェクト主催
オンライン交流会(11/11)
- ・立川市障害者週間(12/4)

【外部からの見学・研修】

(CIL)

- ・社会福祉士実習生受け入れ(立教大学)
- ・明星大学(10/5)

(えんばわ)

- ・音楽活動(国立音楽大学ボランティア受け入れ)
(10/25, 11/22, 12/27, 2/28, 3/28)
- ・シェアFUN! モアFUN! ワークショップ(1/10)

【講師派遣】

(CIL)

- ・明星大学(11/22)
- ・東京学芸大学(12/17)

★ ご寄付等、ありがとうございました ★

- ・山川 朝弘 様 ・木下 亘 様 ・中野 敏子 様
- ・黛 正 様 ・匿名 1 名

特定非営利活動法人 自立生活センター・立川
〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-10-16 材ビル2F
TEL: 042-525-0879 FAX: 042-521-3134
URL: <http://cilt.sakura.ne.jp/>
Mail: cilt@sh.rim.or.jp